

スピード経営実現のためのIT活用セミナー ～“クラウドサービス”か、“GeneXusによる内製化”か～

主催 株式会社ウイング
共催 株式会社みんなのクラウド

経営を取り巻く外部環境は益々グローバルに変化し、顧客の状況やニーズも日々刻々変わっています。企業継続のためには、経営の舵取り、事業が迅速かつ柔軟に行われることが重要です。

本セミナーでは、スピード経営、柔軟経営を行うために、重要な経営基盤である組織への提言及び、活用が広がってきた「クラウドサービス」と「GeneXusによる内製化」について情報、ノウハウをご提供いたします。

【日 時】 2011年12月15日(木) 17:30～19:30 (受付 17:00～)

【会 場】 NOF新宿南口ビル4F セミナールームA (東京都渋谷区代々木2-4-9)
最寄り駅: 都営新宿線/都営大江戸線/京王新線 新宿駅A1出口 徒歩1分、JR新宿駅南口 徒歩3分

【参加費】 無料

【対 象】 企業経営者、幹部、情報システム責任者 先着50名様

【申 込】 弊社ホームページの参加申込みフォームからお申込みください
<http://www.weing.co.jp/?p=180>

【特 典】 GeneXus入門セミナー無料受講券(定価3万円)

第1部 これからの経営基盤は「人が育つ組織」と「柔軟な情報システム」

【講師】サイバー大学 IT総合学部 准教授 勝 眞一郎氏

- 企業にとって必要なものとは何か
- これからの企業情報システムのあり方
- これからの情報システム構築の役割
- スタッフの力を引き出す方法
- これからの経営基盤の条件
- スピード経営に必要なシステム条件とは

第2部 GeneXus活用によるユーザー主体の情報システム開発

【講師】株式会社ウイング 河野 英幸

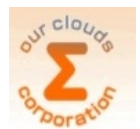
- ユーザー主体開発のメリット
- ユーザー主体開発に必要なこと
- 高スピード、高柔軟性を実現するための開発方法論
- GeneXus概要と弊社が蓄積したノウハウ
- システム開発運用事例

第3部 クラウドを身近なものにする「みんなのクラウド」

【講師】株式会社みんなのクラウド 代表取締役社長

一般社団法人SaaS/クラウド・パートナーズ協会 専務理事 松田利夫

- オープンソース化が進んで身近になったクラウド基盤のノウハウを共有しよう
- パブリッククラウドと互換性のあるプライベートクラウドを使ってハイブリッドクラウド
- みんなで同じクラウド基盤を使えば、ビジネス機会を共有する場が生まれる
- みんなで共有するクラウド基盤上にクラウドサービスを集積
- クラウドサービスを活用するノウハウをみんなで共有しよう



【講師からのメッセージ】

第1部:サイバー大学 IT総合学部 准教授 勝 眞一郎

経営環境は、今後も激変を繰り返し、変化に強い企業体質が生き残りの鍵となります。長年に渡る製造業分野での情報システム構築の経験と同分野におけるコンサルティング活動の経験から、社内情報システム人材の育成と変化に柔軟に対応できるシステム構築基盤の導入がスピード経営の鍵であると考えています。昨今の情報システムを巡る分析と、今後の企業が打つべき手についてお話しいたします。

第2部:㈱ウイング 河野 英幸

企業経営にとって情報システムは重要な役割を果たしています。システムは経営に合わせて常に変化し続けなければなりません。それには外部にシステムを依存するのではなく、企業が主体的になって自社のシステム構築に携わる必要があると考えています。ユーザ主体のシステム構築を進める上での、有効な開発ツールと事例、ソリューションをご紹介します。

第3部:㈱みんなのクラウド 代表取締役社長 松田利夫

クラウド基盤技術のオープンソース化が進み、ノウハウさえあれば誰でも自分でクラウドを構築し、運用できるようになりました。これを利用することにより、パブリッククラウドと互換性のあるプライベートクラウドを組合せてハイブリッドクラウドを構築することが可能です。そこで、ユーザとベンダーが共に同じクラウド基盤を共有する環境を構築することができれば、ユーザは特定ベンダーの束縛から解放され、自由なクラウドサービスの選択を行うことができます。また、ベンダーは相互にクラウドサービスを交換することが可能になり、提供できるクラウドサービスの種類や数を増やすことができます。このようなことを目指す「みんなのクラウド」活動をご紹介します。